



masato nakamura
Relive-EIHO Project

<http://www.commandn.net/~eihorelive/>

中村政人が旅館の再生!?

エピソード

東京から約6時間、富山県氷見市。静かな湾を抱いた高台に佇む"永芳閣"は、創業1937年の老舗旅館(客室数54)だ。2003年7月、永芳閣は38億の不良債権を抱え、民事再生法の申し立てた。しかし、その直後から地元有志や、債権者でもある取引先、旅館の従業員、そして全国の顧客から支援金が寄せられ、民事再生法に基づく再生計画が確定することとなった。これは全国的にも希なケースとして、朝日新聞にも取り上げられた。[※1]

ダメージからスタートへ

多くの人々が存続を願い、支援する永芳閣。しかし実際この後、どんな道を行けるのか。そんな中、永芳閣の女将・平田淑江さんのご主人、平田哲朗さん(永芳閣再生推進委員長)が、芸大時代の同級生であった中村政人に相談をもちかけた。一見アーティストにとってテリトリー外に見える永芳閣の問題。しかしアートとそれを取り巻く社会的状況について、作品を中心に様々な活動により考察、表現してきた中村にとっては、むしろ眠れる将来的価値と未発掘の可能性を掘り起こす探検であったはずだ。かくして、中村政人を中心としてアーティスト、建築家、地元市民を巻き込むプロジェクト「永芳リライブ」が誕生することとなった。

先のインタビューで中村政人はこう答えている。"六年間を見込む永芳閣の再生プロセスアーキテクト。旅館内での全従業員の行為を「プロジェクト」としてとらえ、組織を変え、接遇の改善などさまざまなプロジェクトの立ち上げ準備をしています。その全体が、再生つまり「永芳リライブ」プロジェクトです。"(美術手帖2004.07号)。約半年間、これまでに永芳閣が何たるかを徹底的にリサーチ。永芳閣の生い立ちから、立地環境、従業員一人一人までをつぶさに観察すると共に、氷見市長や地元の人々との会談、氷見クリック[※2]の実施など直接的な関わりを多角的に行い、永芳リライブの根本を築き上げてきた。

中村政人 Masato Nakamura

1963年、秋田県生まれ。現東京在住。東京芸術大学油絵科助教授。美術家。アーティストイニシアティブ・command"N"主宰。

文京区湯島1-8-2 湯島もみじ1F コマンドN
TEL03-3818-7506 FAX03-3818-7507
E-mail info_relive@commandn.net
<http://www.commandn.net/>

Relive JOURNAL

2003.07.31

永芳閣、民事再生法を申し立てる。

PUBLICATION:富山新聞他

「氷見の老舗料理旅館、永芳閣が民事再生法申請」

その後、地元有志、取引先、旅館の従業員、全国の顧客から支援金が寄せられ、民事再生法に基づく再生計画が確定。

2004.02

#001 氷見永芳閣訪問

女将さん、平田さん夫妻が中村政人(美術家)へ旅館再生の相談を持ちかける。

2004.02.29 - 03.03

#002 氷見永芳閣訪問

氷見市長表敬訪問・まちづくり関係の方々との顔合わせ・旅館リサーチ&ミーティング・市内リサーチ・「永芳閣再生プロジェクト基本的推進手順」制作

2004.04.07 - 10

#003 氷見永芳閣訪問

旅館リサーチ&ミーティング・既存ウェブサイト及び新規ウェブサイト検証・市内リサーチ・まちづくり関係の方々とのミーティング

2004.04.25

PUBLICATION:朝日新聞 [※1]

『プリの宿に救い富山・氷見の「永芳閣」民事再生決定』

